

Park at Parking.



賑わいは、さらに賑わいをうむ。しかし、実際の街では、建物の中のショップが賑わっている。日本の都市の街並みを考えると、道路の主役は今でも「車道」であり、街を歩く人は、笑顔であるけれども、目的に向かって歩いていることが多く、少し疲れても、お店に入らないと休むことはできない。

そこで、車道を利用し、車道の上に近年広まりつつあるキッチンカーなど移動販売の車を誘致し、誘致した事業者の車の間に、様々な(仮称)モバイルカーを配置することで、路上に立ち寄れる空間や様々なアクティビティを展開できるようにする計画。運営側は、モバイルカーを製作し、サイトで確認できる事業者のマップ、現場でのデジタルサイネージなど製作し、運営する。

Activity makes itself more and more. But in real City, Only inside buildings.

Thinking the roads in Japanese city, car-road is the main, people can't take rest while they walks and if they are tired...

So, my plan utilizes ca-roads, inviting the wagon retailer, for example food car, and organizer distributes "the mobile car" between the wagon retailers.

this mobile car makes place which people can take rest or play some activity.

Organizer makes the cars and run web site, people can recognize map, Digital Signage in the road.



歩行者天国
車道を歩くことで日常と違う風景を味える。しかし、車道を完全に止めてしまうので、車両の交通・流通を止めてしまう。



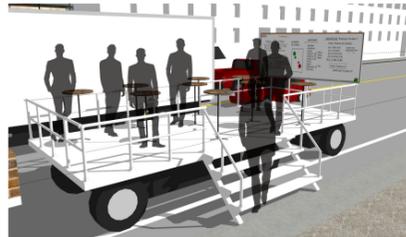
歩道
都市では、お店に入らないと立ち止まれなく、目的に向かって歩くだけです。都市における車は大切な移動手段。しかし、若者の車離れ、カーシェアが予想され、モダンズム時代が生んだ「車が主役の時代」がゆっくりと変化していくのではないかと。

都市における動脈をなるべく邪魔しないように、公共空間をもっと自由に、交流、憩いの場、新たな試みはできないかと思いを考えました。

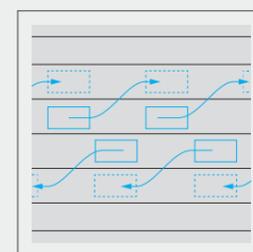
システム面、仕組み

運営側

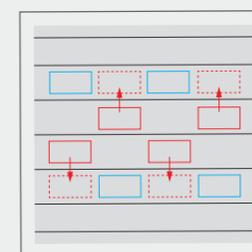
情報を開示し、この企画をまとめるサイトを作り上げ、発信することは言うまでもない。現状の課題として、キッチンカーなど、露店で道路に車を停車して、事業行為を行う場合、警察に「道路占有許可証」など求める必要があり、手続きが難しい。そこで、運営側は、代理として一括で代行する。また、(仮称)モバイルステージを製作し、移動、格納場所で管理することが求められる。



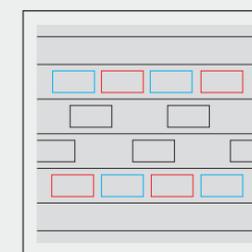
タイムライン



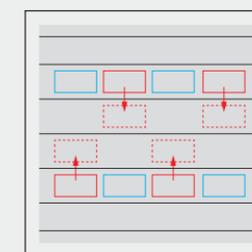
9:00~
道路の車線を制限し、登録した事業者が車両を停車。



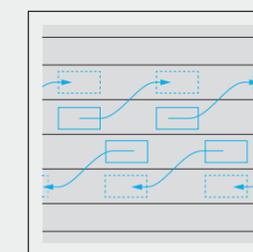
9:30~
停車した車両の間にモバイルステージを縦列させる。



9:30~18:00
稼働時間。



18:30~
モバイルステージを格納場所へと移動。



19:00~
最後、事業者が撤収し終了。